

NTT ドコモから「トラフィック統計分析技術」のライセンス提供を受けて

## ユーザ体感品質の可視化が容易に行なえる「NetPulse」を MWC2016 で発表 変化するネットワークとユーザ特性の分析スピードを向上

代表取締役社長: 床次 隆志

証券コード: 6778

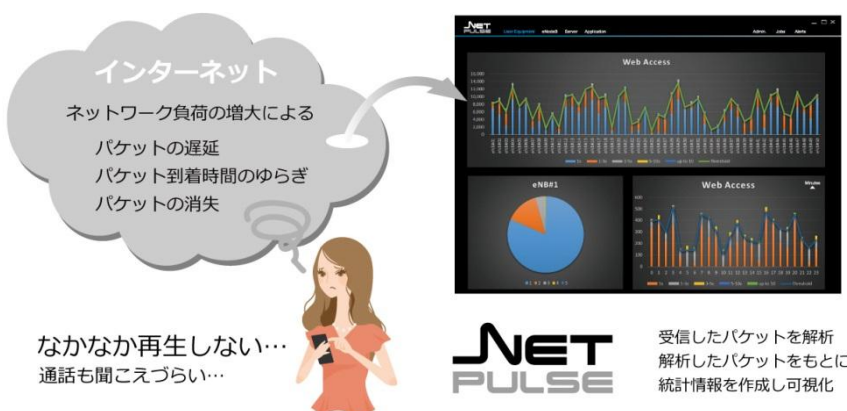
株式会社アルチザネットワークス(東京都立川市、代表取締役社長: 床次 隆志)は、IP 電話や動画配信などリアルタイム性の必要なアプリケーションの急速な普及・トラフィックの急増に対して、実際のユーザ体感品質(QoE)を分析・可視化することで効率的かつスピーディな対応の意思決定を可能とするソリューション「NetPulse」を、2016年2月22日～25日にスペイン・バルセロナで開催される Mobile World Congress 2016(ホール6、スタンド6K11)にて発表いたします。

利用者が快適に利用できる環境を提供するために、通信事業者は必要なネットワーク性能を定義して、その設計を行っています。しかし、実際の通信時には状況が刻々と変化をするため期待どおりのサービス品質が利用者に提供されているとは限りません。IPアプリケーションとユーザ特性を把握せずにトラフィックの急増に対応していくことは、サービスの低下と利益率の低下に繋がります。まず QoE 値を決めて、達成するためのネットワーク性能を定義して設計を行い設備の増強をする。その結果が想定している QoE 値になっているか確認をしていくことが重要です。

「NetPulse」はネットワークのパケットキャプチャ→解析→統計作成→可視化までを容易に行なうことができ、IPアプリケーションがネットワークにどのような影響を与えているのか、ユーザ体感品質に影響する数値がどのように変化しているのかをシンプルな操作とスケーラビリティのある導入しやすい装置構成で実現しています。

本製品は、株式会社 NTT ドコモ(本社: 東京都千代田区、代表取締役社長 加藤 薫)から「トラフィック統計分析技術」のライセンス提供を受けております。

●NetPulse の詳細について(<http://www.artizanetworks.com/netpulse>)



\*QoE (quality of experience)とは: 電子情報通信学会では「ユーザ体感品質」と訳しており、2007年1月には国際的な標準化組織である「ITU (International Telecommunication Union: 国際電気通信連合)」が、QoE の定義を「ITU-T P.10/G.100 Appendix I」として定められています。

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社アルチザネットワークス 事業戦略室

TEL: 042-529-3494 MAIL: [sales@artiza.co.jp](mailto:sales@artiza.co.jp) <http://www.artiza.co.jp/>